

平成24年度 3月号









合志市社会福祉協議会

「れんがの家」だより **障がい者支援センター**

電話:242-2271 FAX:223-5625

引号のトピックス〉

2月17日(日)に水俣市で行われた第6回もやい音楽祭において、社協職員の森政晴さんの自作の 詩「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」が昨年に引き続き二度目の入選をしました。

「もやい音楽祭」とは、障がいのある人や水俣病等の被害を受けた人が、これまでの体験や思いを 綴った詩を公募し、10作品選考され、その詩を見て別の人が作曲を行い一つの楽曲を作る音楽祭で す。森政晴さんの授賞式を皆でお祝いをするために、地域活動支援センターの利用者と職場の皆さん と一緒に、水俣文化会館へ応援に向かいました。

授賞式は、「勤労障がい者長崎打楽団・瑞宝太鼓」の太鼓演奏で幕を開け、次々と発表される入選 作品の心温まる作詞作曲に一同感動し、心を打たれました。

最後に森政晴さんの作詞した楽曲の発表があり、作曲者の高森警察署・生活安全課長 西山正博 さんのパワーあふれる歌とみんなの手拍子で会場のみんながひとつなったような一体感が生まれまし た。詩に合った素晴らしい楽曲ができていましたので、是非皆さんも一度聞いてみてください。森政晴 さん、入選おめでとうございます!





演奏・授賞式の様子



今回のポスターです 来年はれんがの家も ポスターの部に応募

します?!

応援隊と記念撮影

《放課後デイサービス・日中一時支援事業》

バレンタイン*クッキング

2月14日は待ちに待ったバレンタインでしたね。れんがの家 の子供達も家族の方々に感謝の気持ちを込めて「チョコチーズ ケーキ」を作りました。今回はふれあい館厨房の山田さんに作り 方を教えてもらいながら、チョコ割り班、かき混ぜ班など、それぞ れが班ごとの役割を持ち、みんな真剣に取り組んでいました。

おやつの時間には出来上がったチョコチーズケーキをみんなで 試食し.....

子供たちから「おいしい!」の声が!クッキングは大成功! ケーキ作りの後に家族へのメッセージ、ラッピングまで自分たち お母さまがお迎えに来ると少し照れた様子でプ で行いました。 レゼントを渡す姿に職員も思わず笑顔がこぼれました。

誰かのために、みんなと協力して料理に取り組む姿、悩みな がらも思い思いの感謝をメッセージカードに込める姿に、子どもた ちの優しさを改めて感じとる事ができました。

みんなで協力して作り上げました!

〈ヘルバーステーション〉

移動支援とは屋外での移動にお手伝いが必要な、 障がいのある方等が生活の中で、余暇活動等の 社会活動の参加のために外出をする際ヘルパー が、必要な介助を行うものです。

2月24日は、ご利用者の森由美子さんがこの移 動支援を利用して、長崎に行かれました。 当日は 天気も良く絶好の観光日和で新地中華街とランタ ンフェスティバル等、異国情緒あふれる街並みを 堪能されました。

「次は平和記念公園にも行ってみたい。」と満面の 笑顔でおっしゃる森さんでした。









移動支援の様子

《児童発達支援事業》では一

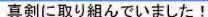
3月3日を前に児童発達支援事業の子ども達でお雛様を作りました。 折り紙でお内裏様とお雛様を折り、クレヨンで色を塗ったり顔を書いたり、そ れぞれのお雛様を作り上げました。お雛様を見比べるとどれも違った良さ があり、個性あふれる仕上がりになりました











《「れんがの家」からのお知らせ 》

(お問い合わせ先) 合志市須屋2540 電話:096-242-2271·FAX:096-223-5625

お詫び

前号の「バ・ト・ン」1月号の手話教室活動報告の記事の中で根井仁子様のお名前 に対して誤表記がございました。(正)根井 仁子様 (誤)根井 仁様 根井様及び読んで頂いた皆様に大変ご迷惑をおかけしました事を、 訂正と共に深くお詫び申し上げます。



れんがの家の豆まき

子どもたちは午前中に豆まき用の箱を作りながら怖いような…楽しみなような… 複雑な気持ちで鬼の到着を待ちました。

豆を手に持ち、助っ人のお多福さんも登場して鬼を迎え撃つ準備は万全! 職員が鬼を探しにドアを開けると...そこには鬼が待ち構えていて...「鬼が来

職員の合図とともにみんな一斉に「鬼は~外~!福は~内~!」と大きな声で鬼 に立ち向かい、見事!! 鬼を退治することが出来ました!

鬼が退散したところで自分の歳の数の豆を食べ、みんなの健康を祈り豆まき大会 は幕を閉じました。

子どもたちは鬼の登場に怖がることなく、豆まきを楽しむことが出来ました。 鬼役を引き受けてくださった地域活動支援センターの皆さん、ご協力ありがとうご ざいました!これからも子どもたちと地活の方との交流を広げていきたいと思い